

校庭の東側を飾る満開の桜の老樹を見るにつけても、武藏高校の歴史の重みを、しみじみと感じております。

同窓会員の皆さんも、多分、何

年か前には、この満開の桜に迎えられ、大きな希望に胸をふくらませて校門をくぐり、そして、さま

ざまな思い出を抱いて、母校を卒立つていったことだと思います。そ

して時は流れ、一年に一度の総会に、懐しい母校のキャムバスに立つ時、若き青春時代の思い出が、又新たな感懷をもつて蘇えり、生きるエネルギーとして、体内に



## 会員の皆様へ

学校長

青柳甲子男

溢れくるのを感じていること思います。

母校は今年で創立四十二年を迎えました。その間、歴代の校長先生をはじめ、在職された多くの先生方、在籍した生徒諸君との、師弟一如の草創、充実、発展への宮

年度から全国的には「ゆとりと充実」と求めての新学習指導要領(教育課程)の実施。東京都に於ては、高校の入学選抜方式も、十五年間続いた学校群制度にかわって、本人の志望尊重と、特色ある学校の創造をめざして、グループ

みをとおして、今日の武藏の伝統、校風が築かれ、名声となっています。

ことは、その伝統の継承と発展にては、努力しなければならないと思つてあります。

ます。

